

## 社員とのかかわり

さまざまなバックグラウンドを持つ社員が、多様性を活かして活躍できる職場づくり、より価値を生みやすい職場づくりに努めています。CSR中計においては、具体的施策について目標とKPIを設定しています。ここでは、人権・人材に関する取り組みについてご紹介します。

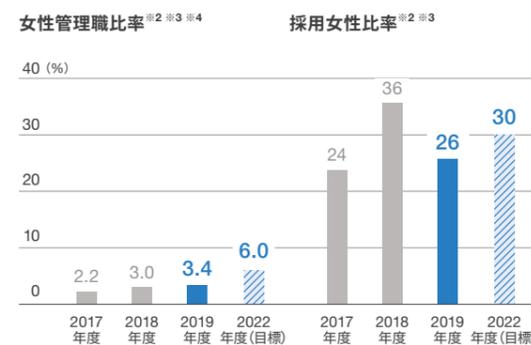
### コスモの人材育成

コスモエネルギーグループでは、「人材」を価値創造の源泉と考えます。経営環境の変化に前向きにスピード感を持って取り組む多様な人材の確保および育成を進めるとともに、さまざまなバックグラウンドを持つ社員が多様性を活かして活躍できる職場づくりに取り組んでいます。多様な価値観、能力、経験を結集させることで、高い生産性の実現と新たな価値創出をめざしています。

### ダイバーシティ

人材の多様性の実現に向け、女性活躍を優先課題として取り組んでおり、2022年度女性管理職比率6%、採用女性比率30%（基幹職）を目標としています。法定以上の育児休業制度に加え、短時間勤務やテレワーク勤務が利用できるほか、記念日休暇、小学校卒業まで取得可能な育児・看護休暇などの特別休暇の取得も促進しています。復職しやすいよう、キャリア支援制度や保活支援制度もあり、育児休業復職率100%を継続しています。家庭の状況が変わった際にもキャリアを継続できるよう、勤務地限定選択制度や再雇用制度、配偶者転勤事由による休業制度を整えています。

育児と仕事の両立推進の取り組みが評価され、当社グループのコスモ石油が、次世代育成支援対策推進法に基づく特例認定（通称：プラチナくるみん認定<sup>※1</sup>）制度におきまして、厚生労働大臣より「プラチナくるみん」企業に石油元売り業界で初めて認定されました。



障がい者雇用率の維持向上にも積極的に取り組み、2020年6月1日時点の障がい者雇用率は2.22%です。今後も、障がい者と健常者が同じ職場で働くインクルージョンを基本とし、『心のバリアフリー』を推進します。

### なでしこ銘柄

経済産業省と東京証券取引所が「女性活躍推進」に優れた上場企業を「中長期の企業価値向上」を重視する投資家にとって魅力ある銘柄として選定する令和元年度「なでしこ銘柄」に、コスモエネルギーホールディングスとして初めて選定されました。

※1 「プラチナくるみん認定」とは、次世代法に基づき「子育てサポート企業」として既に「くるみん認定」を受けた企業のうち、より高い水準の取り組みを行った企業が認定を受けることのできる特例認定制度です。  
 ※2 コスモ石油(基幹職)の社員を対象としています。  
 ※3 各年度3月末時点で集計しています。  
 ※4 管理職とは、部下を持つ職務以上の者、部下を持たなくてもそれと同等の地位にある者を指します。

### 労働安全衛生・新しい働き方

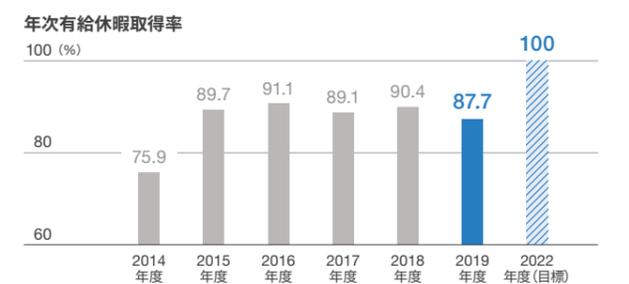
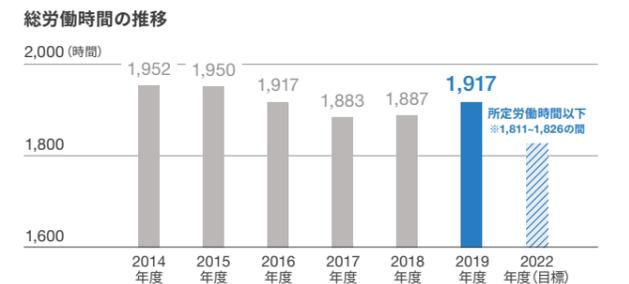
生産性向上、ワークライフバランス推進を目的として、労働時間適正化に取り組んでいます。夜型から朝型勤務への転換、リフレッシュデー、20時消灯など、さまざまな施策を実施し、2019年度の総労働時間実績は1,917時間となりました。引き続き、働き方改革・業務改革に取り組む、高い生産性とワークライフバランスの充実の実現に向けて取り組んでまいります。

2017年度より在宅勤務制度を交替・シフト勤務者を除く全従業員に拡大し、2019年度からは自宅以外での勤務も可能とするテレワーク制度へと発展させました。今般の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、製油所等の出勤が必須の社員を除くほとんどの社員がテレワークを行うことになりました。この経験をもとに、今後テレワークを含めた新しい働き方への移行を進めてまいります。

### 健康経営

品質の高い製品・サービスを安全かつ安定的に供給するためには、従業員が心身ともに健康で、能力を最大限に発揮する環境が不可欠です。従業員やその家族の健康づくりを推進することが企業価値創造に繋がると考えています。2020年4月から就業時間中禁煙、人間ドックや二次検査のための特別休暇を新設し、コスモエネルギーホールディングスならびにコスモエネ

女性活躍を始めとした多様性の実現に向けた働き方改革と男女共同参画への意識改革の取り組みが評価されました。今後も多様性の尊重、社員の能力を最大限発揮できる職場環境づくりに引き続き取り組んでまいります。



ルギー開発、コスモ石油、コスモ石油マーケティング、コスモ石油ブルリカンツ、コスモビジネスアソシエイツは、経済産業省が健康経営銘柄に準じた先進的な企業を選ぶ「健康経営優良法人2020」に認定されました。

